

株式会社ホンダカーズ出雲（島根県出雲市）【自動車小売業】



LEADER

代表取締役社長 青野 隆一 氏

商工会議所のイチオシ

若者の採用・育成に積極的！
青野さんの
取組をご紹介します

島根県出雲市でホンダ製品の販売・整備等事業を展開する株式会社ホンダカーズ。代表取締役社長の青野さんは、男性が多く年齢層も幅広い職場の現状を踏まえ、次代の企業経営を担う新入社員の採用・育成に積極的に取組んでいる。

新入社員一人ひとりに専任の先輩訓練講師を置き、
早期育成を目指す！

■背景・きっかけ:

当社は、出雲市斐川町に本社を置き、市内の三つの営業所で、ホンダ製品の販売・整備、自動車部品や中古車販売に加えて自動車保険等の各種保険を取り扱う。社員数は男性22名、女性6名と、男性中心の職場で年齢層も幅広い。同社においても良い人材の確保・育成は切実な課題であり、中でも、新入社員の育成・教育については、一貫した訓練体制が図られておらず、訓練マニュアルなど一定の基準の作成が必要であると痛感していた。

出雲商工会議所より「ジョブ・カード制度」の紹介を受け、実習型の訓練により社員を育成・雇用するとともに、商工会議所担当者からの支援のもと、訓練のカリキュラムの作成に取り組みするという点に魅力を感じ、営業部門と事務部門で1名ずつ訓練を実施することとした。斐川店



■取組内容:

店長や指導担当者と議論・検討を重ね、訓練のカリキュラムや訓練評価シートを作成した。これまでも社員教育の重要性は十分理解し、訓練カリキュラムの必要性を実感していたこともあり、制度の導入はその絶好の機会となった。また、一日も早く企業にふさわしい社員となるよう、先輩社員を専任の訓練講師として位置づけ、先輩社員が中心となって教育・訓練に取り組むよう体制を整えた。また、専任の訓練講師は店長や取締役が自ら務め、きめ細やかな対応が図れるよう工夫した。

中小企業の実践ポイント

- ▶ 「ジョブ・カード制度」を活用し、訓練カリキュラムを見直して、社内の研修体制を整備
- ▶ 専任の先輩訓練講師を置き、新入社員と密接に関わり、フォローしながら育成を行う

■効果・成果:

ジョブ・カード制度は、実際の現場で働きながら訓練を行う「実習型訓練」に特徴付けられる。OFF-JT訓練とOJT訓練とを合わせて実施する手法は、従来の「見て覚える」という方法とは異なり、技術・知識の理解・習得が早く、非常に効果的であった。OFF-JTでは、外部講師による接客技術等の講義を盛り込んだ。OFF-JTで学んだ理論をOJTですぐに実践することができ、訓練生からも大変好評であった。

また、新入社員の訓練・指導を専任の先輩社員が担当し、教材資料の収集や作成に苦慮する場面もあったが、先輩社員にとっても、改めて自らの技術・知識を振り返る良い機会となった。朝礼時の挨拶では、社員全員が大きな声を出すようになり、訓練生の存在が職場全体に活気をもたらすなど、当初考えもしなかった新たな効果を生むことにも繋がった。

■今後の展望と課題:

今後も引き続き、新入社員を採用・育成する際には、訓練カリキュラムの更なる見直しを行い、当社独自の教育訓練体制を確立していきたいと考えている。若者の活躍は、社内にも活気をもたらす。今後も次代の企業経営を担う新入社員の採用・育成に積極的に取組んでいきたい。

日本商工会議所「ジョブ・カードセンター」 <http://www.ic-center.jp/>
厚生労働省「ジョブ・カード制度」 http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/job_card01/



社長ごだわりのメカニックなホームページ



【企業データ】

代表者	代表取締役社長 青野 隆一	会社設立年	昭和54年	従業員数	28人(うち女性6人)
本社所在地	出雲市斐川町莊原2242-2	ホームページ	http://www.hondacars-izumo.co.jp/		
事業内容	Honda製品の販売・整備、自動車部品販売、中古車販売業、自動車保険取扱代理店業、生命保険募集業務、農協共済代理店業				